

シカゴ来日情報

Blue Note JAZZ FESTIVAL in JAPAN 2024
ブルーノート・ジャズ・フェスティバル・イン・ジャパン 2024
[日程] 2024年9月21日(土)、22日(日)
開場12:00 開演13:00 (両日ともに)
[会場] 有明アリーナ
<https://bluenotejazzfestival.jp/>
*シカゴは2日目のヘッドライナーとして出演

大阪単独公演
[日程] 2024年9月24日(火)
開場18:00 開演19:00
[会場] グランキューブ大阪
<https://udo.jp/osaka>

11月作品予告<2024年11月6日発売タイトル>

第4弾リリースは、ニューヨークのロック・シーンを代表するトーキング・ヘッズ、トム・トム・クラブ、テレビジョン、ヴェルヴェット・アンダーグラウンド、ルー・リードの名盤の数々!

- トーキング・ヘッズ『サイコ・キラー'77』(1977年作品) (WPCR-85067)
- トーキング・ヘッズ『モア・ソングズ』(1978年作品) (WPCR-85068)
- トーキング・ヘッズ『フィア・オブ・ミュージック』(1979年作品) (WPCR-85069)
- トーキング・ヘッズ『リメイン・イン・ライト』(1980年作品) (WPCR-85070)
- トーキング・ヘッズ『実況録音盤 トーキング・ヘッズ・ライヴ』(1982年作品) (WPCR-85071/2)
- トーキング・ヘッズ『スピーキング・イン・タンクス』(1983年作品) (WPCR-85073)
- トーキング・ヘッズ『リトル・クリーチャーズ』(1985年作品) (WPCR-85074)
- トーキング・ヘッズ『トゥルー・ストーリーズ』(1986年作品) (WPCR-85075)
- トーキング・ヘッズ『ネイキッド』(1988年作品) (WPCR-85076)
- トム・トム・クラブ『おしゃべり魔女』(1981年作品) (WPCR-85077)
- テレビジョン『マーキー・ムーン』(1977年作品) (WPCR-85078)
- テレビジョン『アドヴェンチャー』(1978年作品) (WPCR-85079)
- ヴェルヴェット・アンダーグラウンド『ローデッド』(1970年作品) (WPCR-85080)
- ヴェルヴェット・アンダーグラウンド『ライヴ・アット・マクシズ・カンサス・シティ』(1972年作品) (WPCR-85081)
- ルー・リード『NEW YORK』(1989年作品) (WPCR-85082)
- ルー・リード『ソングス・フォー・ドレラ』(1990年作品) (WPCR-85083)
- ルー・リード『マジック・アンド・ロス』(1990年作品) (WPCR-85084)
- ルー・リード『セット・ザ・トワイライト・リーリング』(1996年作品) (WPCR-85085)
- ルー・リード『エクスタシー』(2000年作品) (WPCR-85086)
- ルー・リード『ザ・レイヴン』(2003年作品) (WPCR-85087)

シリーズ好評発売中!

第1弾(全18タイトル)

- ・クラフトワーク(8タイトル)
- ・ニュー・オーダー(8タイトル)
- ・ジョイ・ディヴィジョン(2タイトル)

第2弾(全24タイトル)

- ・イーグルス(7タイトル)
- ・ドゥービー・ブラザーズ(10タイトル)
- ・リンダ・ロンシュタット(7タイトル)



情報はこちらから



Warner MusicLifeのSNSもチェック

FOREVER YOUNG

ワーナーミュージックが誇る洋楽名盤シリーズ
「フォーエヴァー・ヤング」が装いも新たに再始動!

時代を超えて輝き続ける名盤たちのCDが、
2024年6月より長期にわたって続々リリース!

第3弾全20タイトル

2024年9月4日 発売

各¥1,980(税込)

※2枚組CD作品のみ¥2,970(税込)

解説・歌詞・対訳付





シカゴ
『シカゴI (シカゴの軌跡)』
CHICAGO/CHICAGO TRANSIT AUTHORITY

1967年、ロバート・ラムやジェイムズ・バンコウを中心にシカゴで結成。ビッグ・シング～シカゴ・トランジット・オーソリティとバンド名を変えながらLP2枚組でデビューを果たした記念すべき作品。全米アルバム・チャート第17位を記録。<1969年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

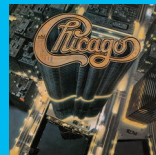
WPCR-85047



シカゴ
『シカゴII (シカゴと23の誓い)』
CHICAGO/CHICAGO

世界のロック・シーンにその存在を示した2作目。大ヒット曲「長い夜」(全米シングル・チャート第4位)、「僕らに微笑みを」(同9位)を収録し、全米アルバム・チャート第4位を記録した彼らの出世作。<1970年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

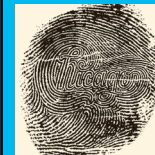
WPCR-85048



シカゴ
『シカゴ13』
CHICAGO/CHICAGO 13

シカゴ流のディスコ・アルバムとも言われた通算13作目。ディスコ・サウンドを意識してリズムに重点を置いた1枚。全米アルバム・チャート第21位を記録。ヒット・シングル「マスト・ハヴ・ビーン・クレイジー」収録。<1979年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85057



シカゴ
『シカゴ14』
CHICAGO/CHICAGO XIV

コロムビア時代最後のオリジナル・アルバム。新たにトム・ダウドをプロデューサーに迎えた通算14作目。全米アルバム・チャート第71位を記録。大ヒット曲「サンダー・アンド・ライトニング」収録。<1980年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

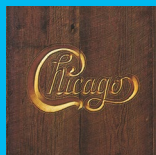
WPCR-85058



シカゴ
『シカゴIII』
CHICAGO/CHICAGO III

デビュー作以来3作連続のLP2枚組でのリリースとなった3作目。ピーター・セテラ、ロバート・ラム、テリー・キャスという個性溢れるリード・ヴォーカリストの持ち味が発揮された名作。全米アルバム・チャート第2位を記録。<1971年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85049



シカゴ
『シカゴV』
CHICAGO/CHICAGO V

初の1枚ものアルバムとなった通算5作目。全体にソウル・ポップ色を強めた内容で、初の全米アルバム・チャート第1位に輝いた。全米シングル・チャート第3位を記録した「サタデー・イン・ザ・パーク」収録。<1972年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

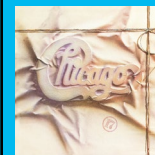
WPCR-85050



シカゴ
『ラヴ・ミー・トゥモロウ (シカゴ16)』
CHICAGO/CHICAGO 16

ビル・チャンプリンをメンバーに加えた新生シカゴの第16作目となるベスト・セラー・アルバム。全米シングル・チャート第1位を記録した「素直になれなくて」、「ラヴ・ミー・トゥモロウ」(同22位)収録。全米アルバム・チャート第9位を記録。<1982年作品/2006年リマスター音源>英文ライナー訳・解説・歌詞・対訳付

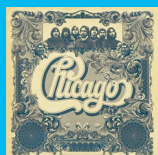
WPCR-85059



シカゴ
『シカゴ17』
CHICAGO/CHICAGO 17

大ヒット曲「君こそすべて」(全米シングル・チャート第3位)、「忘れ得ぬ君に」(同3位)、「いかした彼女」(同14位)「ステイ・ザ・ナイト」(同16位)を収録したベスト・セラー・アルバム。全米アルバム・チャート第4位を記録したピーター・セテラ在籍最後のアルバム。<1984年作品/2006年リマスター音源>英文ライナー訳・解説・歌詞・対訳付

WPCR-85060



シカゴ
『シカゴVI (遙かなる亜米利加)』
CHICAGO/CHICAGO VI

アメリカ国内での人気を不動のものにした通算6作目。前作に続く2作連続で全米アルバム・チャート第1位を記録。大ヒット曲、「君とふたりで」(全米シングル・チャート第4位)、「愛のきずな」(同10位)収録。<1973年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85051



シカゴ
『シカゴVII (市俄古への長い道)』
CHICAGO/CHICAGO VII

久々にLP2枚組で発表された通算7作目。ビーチ・ボーイズやポインター・シスターズのメンバーがゲスト参加し、全米アルバム・チャート第1位を記録。「君は僕のすべて」(全米シングル・チャート第6位)、「遙かなる愛の夜明け」(同9位)、「渚に消えた恋」(同11位)を収録。<1974年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85052



シカゴ
『シカゴ18』
CHICAGO/CHICAGO 18

大ヒット曲「スティル・ラヴ・ミー」(全米シングル・チャート第3位)、「長い夜」のニュー・ヴァージョン(同48位)、「フェイスフル」(同17位)を収録した通算18作目。全米アルバム・チャート第35位を記録。<1986年作品/2009年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85061



シカゴ
『シカゴ19』
CHICAGO/CHICAGO 19

新たな黄金期に突入した通算19作目。大ヒット曲「ルック・アウェイ」(全米シングル・チャート第1位)、「リヴ・ウィズアウト・ユア・ラヴ」(同3位)、「ホワット・カインド・オブ・マン」(同5位)、「ユー・アー・ノット・アローン」(同10位)を収録。全米アルバム・チャート第37位を記録。<1988年作品/2009年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

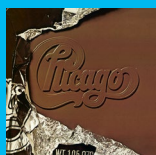
WPCR-85062



シカゴ
『シカゴVIII (未だ見ぬアメリカ)』
CHICAGO/CHICAGO VIII

パーカッションのラウチール・チ・オリヴェイラが正式加入し、8人編成となった通算8作目。全米アルバム・チャート第1位を記録し、「拜啓トルーマン大統領」(全米シングル・チャート13位)、「追憶の日々」(同5位)を収録。<1975年作品/2002年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85053



シカゴ
『シカゴX (カリブの旋風)』
CHICAGO/CHICAGO X

『シカゴV』から作り上げてきたシカゴの洗練されたポップ・センスの頂点が表れていると言える通算10作目。全米アルバム・チャート第3位を記録し、初の全米シングル・チャート第1位に輝いた「愛ある別れ」を収録。<1976年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85054



シカゴ
『シカゴ21』
CHICAGO/CHICAGO TWENTY 1

オリジナル・メンバー、ダニー・セラフィンの脱退という衝撃をもとめせず、王道のアメリカン・ロックを聴かせる通算21作目。「チェイシング・ザ・ウィンド」(全米シングル・チャート第39位)収録。全米アルバム・チャート第66位を記録。<1991年作品/2009年リマスター音源>解説・歌詞・対訳付

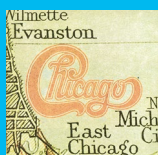
WPCR-85063



シカゴ
『ナイト&デイ〜ビッグ・バンド』
CHICAGO/NIGHT & DAY: BIG BAND

1995年発表の通算22作目はシカゴ流ビッグ・バンド・ジャズ。エヴァー・グリーンなメロディーが彼らの手により、ポップでコンテンポラリーに蘇る。ゲストにジブシー・キングス、ジェイドらを迎えた意欲作。<1995年作品>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85064



シカゴ
『シカゴXI』
CHICAGO/CHICAGO XI

1978年に不慮の事故で他界したテリー・キャスが参加した最後のアルバムとなった通算11作目。ビーチ・ボーイズ、チャカ・カーンがゲスト参加し、全米アルバム・チャート第6位を記録。「朝もやの二人」(全米シングル・チャート第4位)収録。<1977年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

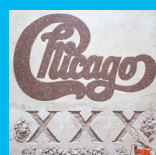
WPCR-85055



シカゴ
『ホット・ストリート』
CHICAGO/HOT STREETS

プロデューサーがフィル・ラモンへとバトン・タッチされた通算12作目。ビーチ・ジャズも参加し、全米アルバム・チャート第12位を記録。大ヒット曲「アライヴ・アゲイン」、「ノー・テル・ラヴァー」(共に全米シングル・チャート14位)収録。<1978年作品/2003年リマスター音源>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85056



シカゴ
『シカゴ XXX』
CHICAGO/CHICAGO XXX

『シカゴ21』に続く約15年ぶりのオリジナル・ニュー・アルバムは通算30作目。ヒット曲「フィール」、「ラヴ・ウィル・カム・バック」収録。全米アルバム・チャート第41位を記録。<2006年作品>解説・歌詞・対訳付

WPCR-85065



シカゴ
『シカゴ32 ストーン・オブ・シシファス』
CHICAGO/CHICAGO XXXII: STONE OF SISYPHUS

90年代中盤に制作され『22』と名付けられていながらも、リリースされることなく歴史に封じ込められた幻のアルバム。収録された楽曲はメンバーのソロや企画作品などで一部披露されているものを含むが、奇跡的にアルバムとしてコンパイルされた通算32作目。<2008年作品>英文ライナー訳・歌詞・対訳付

WPCR-85066